

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を实践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1472202132
法人名	株式会社SHONANCARE
事業所名	湘南グループホームえん
訪問調査日	平成22年11月10日
評価確定日	平成22年12月27日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
外部評価は20項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[次ステップに向けて期待したい内容]
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家 族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 22 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472202132	事業の開始年月日	平成17年6月1日	
		指定年月日	平成16年7月21日	
法人名	株式会社SHONANCARE			
事業所名	湘南グループホームえん			
所在地	(2 5 1 - 0 0 1 4) 神奈川県藤沢市宮前 3 7 1 - 5			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 黒 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成22年10月25日	評価結果 市町村受理日	平成23年2月16日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

介護技術の向上、スキルアップの為の研修参加に力を入れています。防災訓練を毎月行っています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成22年11月10日	評価機関 評価決定日	平成22年12月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

このホームの特徴
 ①このホームの経営母体は、株式会社SHONAN CAREであり、同グループは、小田原・藤沢・平塚にてグループホームを4か所運営している。また小規模多機能型居宅介護、デイサービス、居宅支援事業所も展開している。このホームに隣接して、小規模多機能型居宅介護を併設しており、補完関係になっている。位置は、JR藤沢駅と大船駅の間にあり、どちらの駅からもバスで、10分程度である。バス道から少し奥まった住宅地にあり、建物の南側が公園に面してひらけており、リビングの窓も大きく、視界が広がり、日当たりも良い。企業理念である「出来るだけ多くの高齢者の尊厳と自立を守る」を踏まえて、このホーム独自の「おもしろい」の頭文字をとり、判りやすい5項目の理念を、壁にも掲示し、全職員が励行している。
 ②地域との関係については、法人として自治会へ加入している。自治会との関係は密にあり、地域の子供会や神社のお祭り・どんど焼の案内等を頂き参加をさせて頂く等、また、ホームの行事である納涼祭(8月)・もちつき(2月)には、地域の方々も参加下さっている。今年初めて暑さを避けて夕方から行った納涼祭は、好評であった。運営推進会議は、昨年度まで年3-4回だったが今年度より回数を増やし、年6回期日を決めて行っており(奇数月の第4土曜日)、自治会長・大家さん・包括支援センター・利用者・利用者のご家族にも出席頂き開催をしている。会議の会場として、町内会館を使わせて頂くこともある。お互いに顔見知りとなり、良い関係が築かれ、忌憚のない率直な意見交換が行われることにより、ホームの運営にも役立っている。
 ③身体拘束については、管理者の強い思いもあり、身体拘束をしないことは勿論、夜間の施錠もせず、いつでも外に出て行ける状況にしているのが、このホームの特色でもある。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	湘南グループホームえん
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「おもいやり」の頭文字を取り、理念を上げている。（お）お互いに信頼し合う心を持ちましょう（も）持っている力を発揮できる職場にしましょう（い）一緒に悲しみ喜びを共感できる人になりましょう（や）優しく心温まる介護をしましょう（り）理念に沿った介護をしましょう。	1. 「お」互いに信頼しあう心を持ちましょう 2. 「も」っている力を発揮できる職場に 3. 「い」っしょに悲しみや喜びを共感出来る人に 4. 「や」さしく心温まる介護をしましょう 5. 「り」ねんに沿った介護をしましょう、を合言葉に、管理者もスタッフも同じ方向を向いた介護サービスを行っている。	理念に地域との関係を謳った文章を将来入れることも考慮いただきたい。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のお祭りにはほとんど参加しています。またえんでの模様しもの、行事をお知らせして参加をして頂いています。	法人として、自治会にも加入している。地域のお祭りやどんど焼き、また近隣の大手企業の祭りにも招待され、参加している。ホームで開催する行事にも地元の方々に参加頂き、交流が図られている。8月の納涼祭、2月のもちつき大会は好評を頂いている。	今後の継続	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に地域の方の参加が定着しているので、情報交換や協力を理解して頂いています。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での内容を、各ユニット会議を通して職員に伝え、サービス向上に繋がるようにしています。	自治会の会長にも参加頂いている運営推進会議は、今年度より定期的に2カ月に一度行われており、参加者がお互いに顔見知りとなり、率直な意見交換が図られ、ご家族からのご意見も忌憚なく出され、ホームのサービス向上に役立っている。最近では、地域との防災協力が、課題になっている。	今後の継続	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	グループホーム連絡会、藤沢市主催の研修等に参加させて頂いています。解らないところは直接市へ行き教えて頂いています。	市役所とは、日頃より密に連絡が取れており、研修の案内等を受けている。藤沢市の19のグループホームで構成される連絡会も2カ月に一度行われ、市の職員も参加され、意見交換が行われている。本ホームの防災の取り組みが模範となり、連絡会でも防災を取り上げている。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	正しく理解できています。身体拘束、施錠は全くしていません。	身体拘束は一切しておらず、夜間の玄関の施錠も含めて一切していないのが、このホームの誇りでもある。これは、管理者の強い思いがあり、身体拘束委員会も年2回行い、全職員が共通の認識を持てるよう努めている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士の声かけをすることで、身体的・言葉の虐待が起こらないようにしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修参加やケアマネージャーとの話し合いで、利用者様に不利益が生じないように支援致しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間をかけ理解していただいています。ご家族様からの疑問につきましては、その都度話し合い納得をしてもらっています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談窓口や意見箱を設置しています。運営推進会議などでご家族様が話せる時間を作っているため、参考にさせていただいています。	日頃より、来訪頂くご家族には自分の家と思って頂くため、お茶等もセルフサービスで飲んでもらっており、気楽に意見・要望を頂く関係が築かれている。家族会は年に一度開催され、意見交換を行い、また、運営推進会議でもご家族と話す機会を設け、それらを運営に反映するよう努めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営会議等での課題を管理者会議に持っていき話し合っている。	月に一度、開催するユニット会議、主任会議、運営懷疑等により、職員の意見を抽出し、課題が出れば、管理者会議や経営者会議に吸い上げるシステムが出来ている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規定・運営規定等を明確に表示していません。個人面談により本人の意向を聞いたり、相談に乗ったりしています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修はもちろんですが、外部研修等に出来る限り参加できるように配慮しています。またその都度なぜそうするのかを理解出来るように話します		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会、ケアホーム連絡会研修、他施設へのイベントの参加より得られるものがあれば、質の向上に向けていけるようにしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントを基に利用者様との関わりをたくさん持ち話をよく聞き、信頼関係を築いていける努力をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	一つ一つに誠意を持ちながらお応えできるようにしています。いつでも話ができるような雰囲気作りに努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護支援専門員、職員でカンファレンスを行い、何を必要としているのかを話し合い見極めていっています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事を無理のないよう見守り、支援させていただきます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の普段のご様子等を月1回おたよりを書いたり、日常生活や変化を知って頂けるようにしています。またご家族様にはその都度の行事に参加して頂けるようにお声掛けをさせていただきます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ここをご自分の家だと思える環境作りをします。いつでもご家族様、お友達が来られてもよう環境を提供しています。散歩で近くの神社へお参りすることも日課になっています。	このホームを自分の家だと思えるような環境作りに日々努め、ご家族には、なるべく多く来訪してもらうよう工夫に努めている。本人の馴染みの人や関係が途切れないよう支援し、衣替えの季節には、お便りで衣類の交換に来て頂けるように来訪を促したりしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	出来ないことを利用者様同士手伝ったり、お願いしたりしながら、関わりを持てるようそっと見守りしながら支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去なさってからでも、電話や相談があった場合には、相談にいつでも応じられるようにしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の意向に添った対応を心がけ、無理強いはずせずニーズに合った対応に努めています。	会話のできる方からは、言葉で意向を汲み取り、出来るだけ要望に応じるようにしている。会話の不自由な方では、その表情や様子からご本人の思いの把握に努めている。無理強いせず、辛抱強く、時には、対応する職員や時間を変える工夫をしながら利用者とのコミュニケーションに努めている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントで得る事が出来た情報を把握し、カンファレンスを行い日常生活に支障がないよう支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のカンファレンスにより、お一人お一人の状態を全員で把握出来るようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン作成にあたり、2か月おきに評価を行い、介護支援専門員、職員、ご家族様、ご本人様の希望を伺い計画作成を行っています。	毎日の朝礼の申し送りの事項をベースとして、日頃より職員間の意思疎通を図り、2か月毎に評価を行い、職員全員の意見や利用者、ご家族の意見を集約し、ケアプランの作成、変更・更新を行っている。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに基づいたケアを心がけ、個人記録や業務日誌に残し、話したいことは、毎日のカンファレンスを利用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人を第一と考え個別対応させていただいています。ご家族様の協力を得て柔軟な対応とさせていただきます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方々によるボランティア活動のハーモニカ、ピアノ、ウクレレ等の演奏階への参加をしています。（ケアホームへ移動）		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族の希望により訪問診療を受けています（湘南鎌倉クリニック・なぎさ診療所）1, 2階18名の利用者様の内17名が受診されています。今後も状況に応じた適切な医療連携を受けられるように支援していきます。	健康な方を除き17名の利用者が、ご家族の希望によりホームの協力医療機関である湘南鎌倉クリニックかなぎさ診療所のどちらかを選択頂き、かかりつけ医としている。どちらの医療機関も2週間に一度の往診をしてもらっている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員、ドクター、職員との連携で情報交換を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	担当医とのアポイントメントをとり、直接お会いし状況を伺い、今後の事を話し合ったり、相談させていただいたりしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	施設としての考えを職員、ご家族様に伝え細かいところまで納得頂ける場を設けています。(個別にターミナルについて話し合っています)	管理者は、同グループの他のホームでの看取り介護の経験もあり、看とり介護を行う意向を持っている。まだ差し迫った状況ではないが、ご家族共話し合いを重ね、職員にも研修等を通して、準備を行っている。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故に対する研修を行ったり、マニュアル作成をしていますので、職員全員が対応出来るようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練のほかに、毎月避難訓練を自主的に行ったり、出火場所により逃げる方向の統一化、災害に対する職員の意識付け、運営推進会議での地域の方への協力をお願いしています。	本ホームが、特に力を入れている項目であり、年2回の避難訓練とは別に、毎月1回時間を定めない不意打ち的な、実践的ある避難訓練を行っている。消防署からも協力頂き、煙を出しての避難訓練とか、地震想定のかき出しの実行等、実際に役立つような訓練が行われている。今後は、地域の方々にも協力頂く訓練を考えている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様お一人お一人の事を理解し職員全員がさりげない支援ができるように話し合いを持っています。(ミニカンファレンス)	利用者一人ひとりの、プライドの違いを良く理解して、職員全員がさりげなく支援出来るよう話し合いを重ね、具現化に努めている。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	気持ちに寄り添う事が出来るように、話をよく聞き耳を傾けるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	直接ご本人にお聞きして、決定して頂いています。「どちらになさいますか?」「どうされたいんですか?」等。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で選べる方には選んで頂いています。出来ない方には職員が選んで、見て頂いてから、着てもらっています。理美容、ブラッシング、ひげそり等お声掛けしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	何が食べたいのかお聞きしながら一緒にメニューを作りをしています。出来る方には無理のない程度で台所全般に関わって頂いています。	利用者の声を聞きながら毎日のメニューを2日前に決め、丁寧な手料理が提供されている。季節ごとに、タイ飯、芋の子汁等、季節感を味わえるようメニューを工夫している。毎月の誕生日会では、ご本人の希望を取り入れ、昼食または3時にケーキを出す等、どちらかに重点を置き、楽しめるよう支援に努めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日常生活チェック表を用いて、状況を把握出来るようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	カテキン茶を飲んで頂いています。口腔ケアは、毎食後行っています。訪問歯科の受診により清潔保持が出来るようになっていきます。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンを把握しながら、その方に添った支援を行っています。	一人ひとりの排泄パターンを把握しながら見守りによって、出来るだけトイレの誘導を行っている。おむつの使用は、できるだけ避け、リハパンにパットの使用で代用し、支援している。便秘気味の方には、ヨーグルト・牛乳等、食事面での配慮や散歩での支援に努めている。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、ヨーグルト・牛乳を取って頂き散歩などで腸の動きに刺激を適度に与えるようにしています。頑固な便秘には医師の指示による薬の服薬を頂いています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	声かけをしながら入浴を促します。ご本人が拒否された時には、無理をせず後日の声かけをしています。	入浴は週2回を原則として、本人の意向に沿って臨機応変に対処している。入浴の嫌いな方には、無理強いをせず、時間・日を変え納得頂いてから入浴を促すよう支援している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個室対応の施設なのでご自由に休まれたり、リビングで過ごされたりして居ります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬情報を確認し、間違いが起らないように、服薬の時間、名前、何食の薬なのか声に出し2人で確認をしてから飲んで頂く。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ベランダでの外気欲や散歩などで気分転換して頂いている。個々にお好きな飲み物をお聞きしながら、希望にせるように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	行事の中で外食したり、ドライブをしたりしていますが、全員一緒にという事がなかなか難しくなっています。	重度化が見られるようになり、以前のように全員での外出が無理になってきていることで、職員は、室内での外出疑似体験を企画し、ミニ運動会や昔のお弁当を体験して頂こうと計画している。また、数人単位での外食も復活させることを考えている。近隣は散歩の環境に恵まれており、散歩ができる方は、朝夕2回、職員が一人付き添い行っている。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理が出来る方は、職員と近くのコンビニでお好きな物をおかいものしています。そうでない方は職員が選んで好きそうな物を一緒に買います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に沿った支援をしています。（手紙を出しに行く）		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	スッキリとした空間にしています。いつもの所にいつものようにを心がけ、安心して暮らせるように配慮し、危険のないように支援しています。	重度化が進み、車いすを利用する方が多くなったこともあり、安全を考慮し、共用空間はスッキリと整頓され、危険を回避することを考えて工夫され、居心地よく過せるように配慮している。昔、重宝していたリビングの一角にある4畳半の畳部屋は、現在利用されておらず、今後、有効利用のための改築を考えている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	少し離れた所のソファとかベランダに出してあるテーブルの所で過ごせるように工夫をしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様に事前に話をさせて頂き、以前から使用していた、なじんでいる物を持ってきて頂いて、安心して生活ができるような工夫をしています。	一人ひとりの個人の部屋である考えから、本人の馴染みの物を置いて頂くと共に自由に個性豊かに使用されている。ご家族にも自分の家の感覚を持って頂くため、衣替えの時期や、年末の窓拭きをご家族にご協力して頂けるよう提案を行う等、本人が居心地よく過せるよう配慮に努めている。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	杖や手すりを使い安全に過ごせる工夫がなされています。バリアフリーなので見守りを重視する事により自由に過ごして頂けるようにしています。		

事業所名	週何グループホームえん
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「おもいやり」の頭文字を取り、理念を上げている。（お）お互いに信頼し合う心を持ちましょう（も）持っている力を発揮できる職場にしましょう（い）一緒に悲しみ喜びを共感できる人になりましょう（や）優しく心温まる介護をしましょう（り）理念に沿った介護をしましょう。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のお祭りにはほとんど参加しています。またえんでの模様しもの、行事をお知らせして参加をして頂いています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に地域の方の参加が定着しているので、情報交換や協力を理解して頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での内容を、各ユニット会議を通して職員に伝え、サービス向上に繋がるようにしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	グループホーム連絡会、藤沢市主催の研修等に参加させて頂いています。解らないところは直接市へ行き教えて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	正しく理解できています。身体拘束、施錠は全くしていません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士の声かけをすることで、身体的・言葉の虐待が起こらないようにしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修参加やケアマネージャーとの話し合いで、利用者様に不利益が生じないように支援致しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間をかけ理解していただいています。ご家族様からの疑問につきましては、その都度話し合い納得をしてもらっています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談窓口や意見箱を設置しています。運営推進会議などでご家族様が話せる時間を作っているため、参考にさせていただいています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営会議等での課題を管理者会議に持っていき話し合っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規定・運営規定等を明確に表示していません。個人面談により本人の意向を聞いたり、相談に乗ったりしています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修はもちろんです、外部研修等に出来る限り参加できるように配慮しています。またその都度なぜそうするのかを理解出来るように話します		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会、ケアホーム連絡会研修、他施設へのイベントの参加より得られるものがあれば、質の向上に向けていけるようにしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントを基に利用者様との関わりをたくさん持ち話をよく聞き、信頼関係を築いていける努力をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	一つ一つに誠意を持ちながらお応えできるようにしています。いつでも話ができるような雰囲気作りに努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護支援専門員、職員でカンファレンスを行い、何を必要としているのかを話し合い見極めていっています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事を無理のないよう見守り、支援させていただきます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の普段のご様子等を月1回おたよりを書いたり、日常生活や変化を知って頂けるようにしています。またご家族様にはその都度の行事に参加して頂けるようにお声掛けをさせていただきます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ここをご自分の家だと思える環境作りをします。いつでもご家族様、お友達が来られてもよう環境を提供しています。散歩で近くの神社へお参りすることも日課になっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	出来ないことを利用者様同士手伝ったり、お願いしたりしながら、関わりを持てるようそっと見守りしながら支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去なさってからでも、電話や相談があった場合には、相談にいつでも応じられるようにしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の意向に添った対応を心がけ、無理強いはずらずニーズに合った対応に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントで得る事が出来た情報を把握し、カンファレンスを行い日常生活に支障がないよう支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のカンファレンスにより、お一人お一人の状態を全員で把握出来るようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン作成にあたり、2か月おきに評価を行い、介護支援専門員、職員、ご家族様、ご本人様の希望を伺い計画作成を行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに基づいたケアを心がけ、個人記録や業務日誌に残し、話したいことは、毎日のカンファレンスを利用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人を第一と考え個別対応させていただいています。ご家族様の協力を得て柔軟な対応とさせていただきます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方々によるボランティア活動のハーモニカ、ピアノ、ウクレレ等の演奏階への参加をしています。（ケアホームへ移動）		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族の希望により訪問診療を受けています（湘南鎌倉クリニック・なぎさ診療所）1, 2階18名の利用者様の内17名が受診されています。今後も状況に応じた適切な医療連携を受けられるように支援していきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員、ドクター、職員との連携で情報交換を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	担当医とのアポイントメントをとり、直接お会いし状況を伺い、今後の事を話し合ったり、相談させていただいたりしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	施設としての考えを職員、ご家族様に伝え細かいところまで納得頂ける場を設けています。 (個別にターミナルについて話し合っています)		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故に対する研修を行ったり、マニュアル作成をしていますので、職員全員が対応出来るようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練のほかに、毎月避難訓練を自主的に行ったり、出火場所により逃げる方向の統一化、災害に対する職員の意識付け、運営推進会議での地域の方への協力をお願いしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様お一人お一人の事を理解し職員全員がさりげない支援ができるように話し合いを持っています。(ミニカンファレンス)		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	気持ちに寄り添う事が出来るように、話をよく聞き耳を傾けるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	直接ご本人にお聞きして、決定して頂いています。「どちらになさいますか?」「どうされたいんですか?」等。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で選べる方には選んで頂いています。出来ない方には職員が選んで、見て頂いてから、着てもらっています。理美容、ブラッシング、ひげそり等お声掛けしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	何が食べたいのかお聞きしながら一緒にメニューを作りをしています。出来る方には無理のない程度で台所全般に関わって頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日常生活チェック表を用いて、状況を把握出来るようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	カテキン茶を飲んで頂いています。口腔ケアは、毎食後行っています。訪問歯科の受診により清潔保持が出来るようになっていきます。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンを把握しながら、その方に添った支援を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、ヨーグルト・牛乳を取って頂き散歩などで腸の動きに刺激を適度に与えるようにしています。頑固な便秘には医師の指示による薬の服薬をして頂いています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	声かけをしながら入浴を促します。ご本人が拒否された時には、無理をせず後日の声かけをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個室対応の施設なのでご自由に休まれたり、リビングで過ごされたりして居ります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬情報を確認し、間違いが起らないように、服薬の時間、名前、何食の薬なのか声に出し2人で確認をしてから飲んで頂く。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ベランダでの外気欲や散歩などで気分転換して頂いている。個々にお好きな飲み物をお聞きしながら、希望にせるように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	行事の中で外食したり、ドライブをしたりしていますが、全員一緒にという事がなかなか難しくなっています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理が出来る方は、職員と近くのコンビニでお好きな物をおかいものしています。そうでない方は職員が選んで好きそうな物を一緒に買います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に沿った支援をしています。（手紙を出しに行く）		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	スッキリとした空間にしています。いつもの所にいつものようにを心がけ、安心して暮らせるように配慮し、危険のないように支援しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	少し離れた所のソファとかベランダに出してあるテーブルの所で過ごせるように工夫をしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様に事前に話をさせて頂き、以前から使用していた、なじんでいる物を持ってきて頂いて、安心して生活が出来るような工夫をしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	杖や手すりを使い安全に過ごせる工夫がなされています。バリアフリーなので見守りを重視する事により自由に過ごして頂けるようにしています。		

目 標 達 成 計 画

事業所

湘南グループホームえん

作成日

平成22年11月10日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1		・現在防災の時の避難訓練に力を入れて取り組んでいます。毎月行っているのですが、職員の認識度を深めていきたいです。	・出火場所により利用者様の移動する方向を瞬時に判断できるようにする。（夜間も）	・毎回の取組の中で体で覚える。 ・通報の時慌てることなく出来るようにする。	6 か月
2		・介護度が上がって来ている利用者様との外出が出来る工夫をして行きたいです。	・ご家族の協力のもと利用者全員で楽しむことが出来るような、イベントを行う（江の島水族館、大仏など）	・ご家族様にご理解、協力して頂けるよう、家族会・運営推進会等で計画した事をアピールして行きます。	1 年位
3		・職員のスキルアップ	・自分から進んで研修等に参加したいと思えるような指導方法を考えます。	・介護福祉士、ケアマネージャーの資格取得。内部研修、外部研修への参加。	2～3年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。